

中央アジア史Ⅰ

科目ナンバリング HAA-223

選択 2単位

山内 和也

1. 授業の概要(ねらい)

中央アジアは洋の東西を結ぶユーラシア大陸の中央部に位置する地域です。このユーラシア大陸、そして中央アジアを貫くシルクロード、すなわち「絹の道」は物だけでなく、さまざまな宗教を洋の東西に伝えるとともに、たくさんの人たちが往来する道でもあり、私たちの文化の交流、人間の交流の歴史において大きな役割を果たしてきました。この授業では、中央アジア、そしてシルクロードに焦点をあて、キルギス共和国のアク・ベシム遺跡を具体的な事例としてとりあげ、その時代の歴史や文化を学びます。また外部の専門家(芸術等)の招へいや帝京大学シルクロード学術調査団の調査の成果の紹介を通して、シルクロードそして中央アジアに対する多角的な視点を学びます。

2. 授業の到達目標

中央アジアの世界を理解すること、そして中央アジアが持つ歴史的なダイナミズムを理解すること。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験50%、課題レポート20%、小テスト20%、授業参加状況10%

4. 教科書・参考文献

教科書

シルクロード検定実行委員会編 『読む事典 シルクロードの世界』

NHK出版

参考文献

宇山智彦編 『中央アジアを知るための 60章』2003年 明石書店

小松久男・梅村坦・宇山智彦・帯谷知可・堀川徹(共編) 『中央ユーラシアを知る事典』2005年 平凡社

小松久男(編) 『テュルクを知るための61章』2016年 明石書店

5. 準備学修の内容

博物館や美術館で展示されている中央アジアあるいは西アジア地域の考古遺物、美術・芸術作品を積極的に鑑賞すること。

6. その他履修上の注意事項

中央アジアは日本人にとって近くて遠い地域にあたります。その一方で、中央アジアを通るシルクロードを通じて、日本にはさまざまな文化が伝わりました。中央アジアそのものだけでなく、過去から現在まで続く日本との関係についても興味を持っていただきたいと思います。

7. 授業内容

- 【第1回】 シルクロードと中央アジア世界を知る
- 【第2回】 シルクロードの芸術に親しむーシルクロードの音楽と楽器ー
- 【第3回】 正倉院に残るシルクロードの工芸品を学ぶ
- 【第4回】 海のシルクロードー陶磁の道ーを知る
- 【第5回】 玄奘がたどった道を知る
- 【第6回】 グレートゲームと探検の時代とは何か
- 【第7回】 玄奘が訪れたアク・ベシム(スィヤブ)遺跡とは何か
- 【第8回】 アク・ベシム遺跡の発掘
- 【第9回】 シルクロードの民ソグド人とは
- 【第10回】 中央アジアの宗教ーゾロアスター教ーを学ぶ
- 【第11回】 自然と生きる人々ー遊牧民と農耕民ー
- 【第12回】 唐の西方進出と中国が残した足跡を知る
- 【第13回】 アク・ベシム遺跡の現場からのメッセージー帝京大学シルクロード学術調査団の成果ー
- 【第14回】 アク・ベシム遺跡の調査からわかること
- 【第15回】 まとめ:シルクロード、そして中央アジア世界の重要性を考える